

# Competencies demonstrated by risk managers who hold a nursing qualification in responding to medical accidents: A narrative analysis

著者	油野 規代
著者別表示	YUNO Noriyo
journal or publication title	博士論文要旨Abstract
学位授与番号	13301甲第5187号
学位名	博士（保健学）
学位授与年月日	2020-09-28
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00061290">http://hdl.handle.net/2297/00061290</a>



## 博士論文審査結果報告書

学籍番号 1529022028

氏 名 油野 規代

論文審査員

主 査（職名） 中谷壽男（教授）



副 査（職名） 田中浩二（教授）



副 査（職名） 加藤真由美（教授）



論文題名 Competencies demonstrated by risk managers who hold a nursing qualification in responding to medical accidents: A narrative analysis (看護師資格を有する医療安全管理者の医療事故対応におけるコンピテンシー：ナラティブ分析)

## 論文審査結果

## 【論文内容の要旨】

医療安全管理者（以下、安全管理者）は、医療事故が発生すると時間外であろうと出務し、中立の立場で葛藤関係にある当事者に対応している。研究目的は、看護師の安全管理者の「困難と感じた医療事故対応」において発揮されたコンピテンシー（能力）を明らかにすること。研究デザインは質的記述的研究であり、非構造的面接法を用いてテキストデータを収集し、Riessmanの構造分析の要素を用いたナラティブ分析を行った。金沢大学医学倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号：648-1）。対象者は、7ヶ所の急性期病院に勤務する安全管理者7名であった。全員が看護師長の経験があり、年齢は50～60歳代、看護師経験年数は29～38年、安全管理者の経験年数は1年2ヵ月～8年であった。結果、6つのコンピテンシーが抽出された。【問題の核心に迫れる能力】：突然発生する医療事故に、どのような場合であろうと状況を客観的に見極め分析するコンピテンシー。【解決の糸口となる人物を識別する能力】：自分では対応しきれないと判断した際は、事態を悪化させずに解決できる糸口となる人物を探し当て、協力を依頼するコンピテンシー。【患者・家族に心を寄せ対応する能力】：自分の立場が患者・家族から理解されていない状況に苦悩するが、患者・家族に心を寄せ対応するコンピテンシー。【関係者全てが患者の命に向き合う場を作る能力】：葛藤関係にある当事者が患者の精一杯生きる姿を感情的に共有する場を作り、関係修復するコンピテンシー。【誰もが譲らない状況をケアの視点に切り替える能力】：ICUから一般病棟への転棟を拒否する家族に、患者の状態を丁寧に説明し、必要なケアを提案して状況を変えるコンピテンシー。【感情に巻き込まれず事実を見極める能力】：様々な事故の状況において真摯に対応しつつ、自身の感情を制御し冷静に職務をやり遂げようとするコンピテンシー。看護師としての看護観や看護師長の経験知がこれらのコンピテンシーの根底にあることが示唆された。

## 【審査結果の要旨】

施設および対象者から研究協力を得ることが困難な状況において、「困難と感じた医療事故対応」をやり遂げる際に発揮されるコンピテンシーを明らかにしたことは、国内外において新規である。本研究成果は、看護師の安全管理者のバーンアウトの予防に貢献する重要な知見となった。なお、本申請者が筆頭著者の参考論文は、日本転倒予防学会の優秀論文賞を獲得した。公開審査会では質疑応答を適切に答えていた。以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士（保健学）の学位を授与するに値すると評価する。